

II-12 名古屋都心の駐車問題

名古屋大学工学部

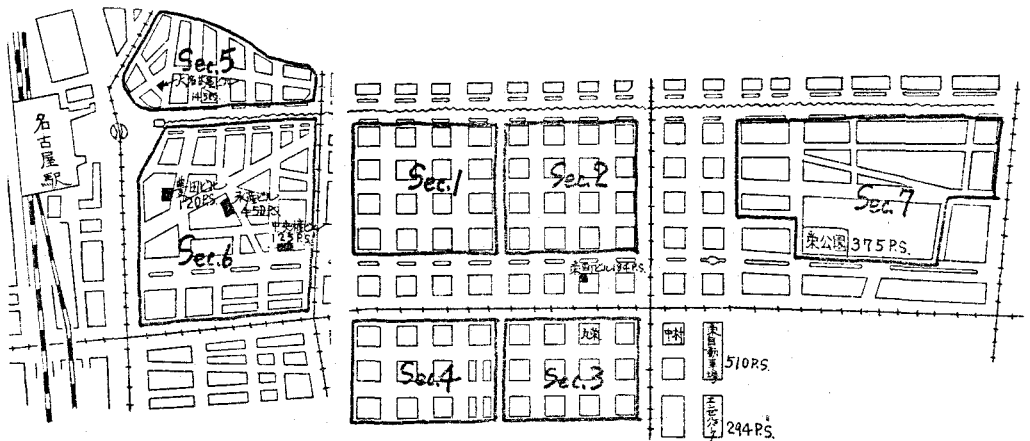
正会員

毛利正光

〇横井益美

名古屋市においても東京・大阪と同じように、ここ数年来自動車保有台数の急激な増加により駐車場所の不足が一層深刻なものになっている。この傾向は今後も自動車交通の伸びとともに激化の一途をたどるものと予想される。道路本来の使命は人または貨物を輸送することであり、車の置き場所として使うべきでない。さりとて駐車禁止することは商業活動を圧迫することになって逆効果である。そこで時間規制をすることによって車の回転を早くする。駐車許容量を増大させて円滑な都市活動が続けられるようにする。長時間駐車を必要とする車には路外駐車場に入ってもらって、駐車難を解決する。今度、愛知県警では駐車対策樹立上の資料を得る目的で本年3月駐車実態調査を行った。その資料をもとに駐車問題解決策をさぐって見たい。

§1 範囲



§2 路上駐車調査方式

調査員は乗用車に運転者1名、記録員2名、計数員2名、アンケート用ハガキ貼布員1名計6名で、各Sectionごとに午前10時から午後4時までの間30分間隔で測定し駐車台数の観測を行なった。このグレート断続調査の結果同一地点において引き続き2時間以上観測された車両にはアンケート用ハガキを貼布しアンケートによる駐車理由、駐車時間、反復性などの調査を行なった。回答のない場合は車両ナンバーから所属省を判出し同一の住所地が県内にあるものは所轄警察署員による面接調査が行なわれた。

§3 調査結果

名古屋駅前では片側駐車であり、その他では両側駐車である。Sec.1, Sec.2は縦横間屋街である。歩道に車の東入道を作って路上駐車を困難にしている。自分の品物を自家用車で配達しており

外より買物に来る車は少ない。配達用の自家用車を使わない時は路外駐車場に入れるようにすべきである。Sec.3, Sec.4地区は繁華街であって夕方より駐車需要量が増大する。

時	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	平均
名店駅前(Sec.5)	248台	238台	231台	240台	225台	230台	223台	235台	222台	240台	254台	231台	235台	
計(A)	395台	368台	357台	379台	370台	358台	367台	374台	386台	389台	381台	402台	380台	
許容台数(B)	613台	613台	613台	613台	613台	613台	613台	613台	613台	613台	613台	613台	613台	
占用率 = $\frac{A}{B} \times 100\%$	64.4%	60.0%	58.2%	61.8%	60.3%	58.4%	59.9%	61.0%	62.8%	63.5%	62.2%	65.6%	62.0%	

時	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	平均
栄周辺(Sec.2)	614台	617台	631台	624台	629台	625台	576台	606台	579台	578台	589台	601台	606台	
計(A)	1292台	1286台	1289台	1273台	1327台	1370台	1320台	1354台	1223台	1297台	1322台	1336台	1316台	
許容台数(B)	435台	435台	435台	435台	435台	435台	435台	435台	435台	435台	435台	435台	435台	
占用率 = $\frac{A}{B} \times 100\%$	297.0%	295.6%	296.3%	292.6%	305.5%	314.9%	303.4%	311.3%	281.1%	298.2%	303.9%	307.6%	302.5%	
栄周辺(Sec.3)	372台	387台	385台	389台	408台	417台	418台	397台	408台	438台	451台	473台	412台	
計(A)	754台	788台	787台	788台	826台	853台	826台	824台	852台	881台	913台	944台	827台	
許容台数(B)	468台	468台	468台	468台	468台	468台	468台	468台	468台	468台	468台	468台	468台	
占用率 = $\frac{A}{B} \times 100\%$	161.1%	168.4%	168.2%	168.4%	176.5%	182.3%	176.5%	176.1%	183.8%	188.2%	195.1%	201.7%	176.7%	

時	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	平均
栄公園附近	502台	495台	508台	525台	526台	524台	506台	504台	516台	497台	519台	507台	511台	
計(A)	282台	282台	282台	282台	282台	282台	282台	282台	282台	282台	282台	282台	282台	
許容台数(B)	282台	282台	282台	282台	282台	282台	282台	282台	282台	282台	282台	282台	282台	
占用率 = $\frac{A}{B} \times 100\%$	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

長 の 理 由 車	回答数	反 復 性					時 間 規 制 と な っ た 場 合						
		たまに 駐車	ほとんど毎日 同一場所 駐車	毎日 別の場所 駐車	毎日 別の場所 駐車	その他	路外駐車場規制で 路内に入るのを 避ける	路外駐車場規制で 路内に入るのを 避ける	路外駐車場規制で 路内に入るのを 避ける	路外駐車場規制で 路内に入るのを 避ける	路外駐車場規制で 路内に入るのを 避ける	路外駐車場規制で 路内に入るのを 避ける	その他
商 談	39台 20.5%	26台 36.1%		7台 9.9%	3台 25.0%	3台 25.0%	15台 23.1%	8台 11.9%	1台 5.0%	11台 50.0%	4台 26.7%		
買 物	6台 3.2%	6台 8.3%					5台 9.7%						
通 勤	86台 45.3%	18台 25.0%	14台 60.9%	40台 56.3%	6台 50.0%	8台 66.7%	16台 24.6%	44台 65.9%	17台 85.0%	2台 9.1%	7台 46.7%		
遠方保管場所	23台 12.1%	7台 9.7%	4台 17.4%	11台 15.5%	1台 8.3%		8台 12.3%	6台 9.0%	2台 10.0%	6台 27.3%	1台 6.7%		
店内保管場所	18台 9.5%	4台 5.6%	3台 13.0%	10台 14.1%		1台 8.3%	9台 13.8%	6台 9.0%		1台 4.5%	2台 13.3%		
その他	18台 9.5%	11台 15.3%	2台 8.9%	3台 4.2%	2台 16.9%		12台 18.5%	3台 4.5%		2台 9.1%	1台 6.7%		
合 計	190台	72台	23台	71台	12台	12台	65台	67台	20台	22台	15台		

5.4 駐車対策

路上駐車の実態調査したところ、午前8時より車が集まって来て9時頃には満車になる。通勤、その他保管場所代用的な色彩の濃い長時間駐車が早朝から相応の場所を占拠してしまう。これでは

都市活動に密接に関連を有する業務用車か、その間隙をぬって駐車しているやに認められる。この特定の長時間駐車を排除し、不特定の短時間駐車の使用を道路上で行なうべきである。そこで駐車規制した場合、占有率などどのように変わるかの計算結果は下表の通りである。

	名古屋駅前 Sec.5, Sec.6	栄周辺 Sec.1, Sec.2	Sec.3, Sec.4	栄公園附近 Sec.7
駐車需要量	3701台時	7854台時	5023台時	3053台時
駐車許容量	3678	2610	2808	1692
現状のままの平均占有率	100.6%	142.6%	89.2%	98.1%
片側駐車禁止にしたとき		300.9	178.9	180.4
2時間以上駐車禁止にしたとき	79.1	223.3	122.8	102.1
1時間以上駐車禁止にしたとき	73.5	163.8	82.3	67.4
現状通りで通勤を除いた場合	98.1%	134.9%	83.4%	159.9%
2時間以上駐車禁止で通勤を除いた場合	76.5	206.9	111.3	81.6
通勤、商談、買物、遠方保管場所、店内保管場所を合算して2時間以上駐車禁止にすると	73.5%	121.4%	50.9%	

§5 路外駐車場の更態

路外駐車場は、大別すると月ごめ等の保管場所的なるものと、時間制によるいわゆる駐車場のなるものに分けられる。特別規制区域として新函としていふ外堀町通、堀田高条線、若宮大通、広井町線（駅西の一部を含む）に囲まれた約4.7km²の区域内にある公私の駐車場について収容可能台数および収容余力等について面荷調査が行なわれた。その集計は下に表示通りである。

	スペース	保管場所的			駐車場の			
		スペース	特定	収容余地	スペース	特定	不特定	収容余地
名古屋駅周辺	2642	822	874	159	1820	307	7681	0
広小路周辺	1815	1187	1075	112	723	106	1737	56
東新町	716	240	170	55	476	23	260	193
新栄町	108	77	67	10	31	23	0	0
合計	5281	2326	2186	336	3050	459	9678	249

目下建設中の駐車場は、栄自動車場（510台）、矢場公園（141台）、ラインパーク（294台）である。

路外駐車場の誘致距離は500m以内である。各地区ごとに分散して作ると同時に通勤用に自動車を使用する事は一度考えるべきであるように思われる。